

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

ダイヤモンドの広い応用によるイノベーション創出と、地球環境維持・社会問題解決を通じた世界への貢献

2 中長期の経営戦略

1. LGD宝石ビジネス展開

2024年1月SFD設立。当社が原石生産、インドで加工、SFDが国内外で販売。2024年7月SFD India設立で種結晶販売と宝石加工受託

3. ダイヤモンドデバイス開発

2インチ以上口径ウエハの市場創成を目指す開発に注力。単結晶大型化やモザイク結晶で大型化を先導。基礎研究段階から製造プロセス適用へ

2. 種結晶ビジネス強化

インド・グジャラート州に現地拠点設置。LGDメーカーへの種結晶現地販売とタイムリーな顧客対応。5x5mm～15x15mm幅広い形状対応可能

4. 光学・熱応用市場開拓

5G・高出力レーザー・パワーデバイスでのダイヤモンド利用検討。X線用窓が量産移行。ヒートシンク応用の実現性高く将来大型市場期待

3 対処すべき課題

① LGD市場環境悪化対応

- ・ 2024年3月期後半から小型宝石中心に価格低下が急激に発生。
- ・ 主要ユーザーの倒産による受注減少。種結晶需要の後退
- ・ LGD製造企業による自家用種結晶製作増加とCAD-CAM技術確立による種結晶ビジネスモデル変化

② 海外事業展開課題

- ・ 初めての本格的海外展開。SFD India設立後、2025年3月期末においても十分な活動できず
- ・ ベルギー子会社SFD Antwerp BVの営業開始遅延
- ・ 現地オペレーション構築と販売ルート確立に時間要する

③ デバイス市場創成

- ・ ウエハについては半導体製造プロセス適用可能な大型ウエハが無く市場未形成状態
- ・ 30x30mm単結晶または38x38mmモザイク基板が最大。2インチ以上必要だが基礎研究段階
- ・ 量産化までの技術開発段階が長い

面接で使えるポイント

- ・ 人工ダイヤモンド市場は2023年235億ドル規模で年率10.2%成長。米国での天然ダイヤ代替率50%超
- ・ インドに2024年7月SFD India設立し、種結晶販売と宝石加工で垂直統合ビジネスへ転換
- ・ 2インチウエハ実用化で半導体デバイス領域の大型市場創成を目指す開発に注力中

証券コード 7794

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

ダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発を主たる事業とする企業

主力事業・セグメント

- ・その他製品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
5億円営業利益率
▲263.4%財務健康度
48点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 35.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収

486万円

その他製品内 90位/105社

平均年齢

48.4歳

その他製品内 2位/105社

平均勤続

5.0年

その他製品内 100位/105社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: イーディーピー[7794]: 取締役人事に関するお知らせ 20

